



# 教育あがつま HOT NEWS

第51号  
平成29年11月27日  
吾妻教育事務所 発行

## 問題解決的な学習の充実を目指して！ 単元構想編

新学習指導要領では、基礎的基本的な学習内容の確実な習得と、小・中学校で実践してきた問題解決的な学習の充実を求めています。つまり、教えるべきことはしっかり教えつつも、考えさせることを明確にして問題解決的な学習を一層充実させてほしいということです。

そこで、今回は問題解決的な学習の充実を目指して示された授業改善の視点「主体的・対話的で深い学び」から単元構想と授業構想のPointを掲載してみました。

### <問題解決的な学習を充実させる単元構想上のPoint>

- ①指導要領解説に示される内容を捉え、伸ばしたい資質・能力を明確にし、単元の最終的なゴールの姿を設定する。
- ②①を基に、単元や章などの共通課題（単元や章を貫く問題・目標）を設定する。  
\*学習の方向性を子どもに問いかけながら整理したい。
- ③小単元、章、一時間ごとに伸ばしたい資質・能力を明確にするが、学習内容や児童生徒の実態から4観点の資質・能力に軽重をつけて指導計画を作成する。  
\*知識・理解や技能面は、「視覚的な捉えやすさ」「次時の学習で活用される」ため、単元を構想する際に意識しやすい。しかし、**意欲面や思考・判断・表現面**は結果ではなく、活動中の子どもの表情、発言、記述に表れるため、子どもの意識をつなぐことをより強く意識して単元を構想する必要がある。

### <例：中学校2年「社会」>

最終的なゴールの姿を想定して、そこから単元が構成されています。教えるべき時間はしっかり教え、考えさせるべき時間はしっかり考えさせる。身に付けさせたい力が明確なので、一時間ごとのねらいも明確になっています。



授業者

中学校社会（地理）日本の諸地域「中国・四国地方」

### 単元計画



生徒

単元全体を通した学習課題を「なぜ型」で設定して生徒に考えさせてみよう。毎時間掲示して意識させよう。

産業については、私が資料を提示しながらしっかり教えよう。

ジグソー班でテーマごとに追究させてから交流させることで、多面的・多角的に考えさせよう。

この学級は、協働的、共感的な雰囲気があるから、説明し合う活動もうまくいくだろう。

| 1 | 1. 単元の学習課題を知る                           | 【関・意・能】 |
|---|---|---------|
|   | 中国・四国地方の都市や農村で見られる問題や変化はなぜ生じてきているのか     |         |
| 2 | 2. 中国・四国地方の自然環境・産業について知る                | 【知識・理解】 |
| 3 | 3. ジグソー班でテーマごとに追究する①                    | 【資料活用】  |
| 4 | 4. ジグソー班でテーマごとに追究する②                    | 【資料活用】  |
| 5 | 5. 元の班に戻り追究結果を説明し、学習課題に対する答えを自分の言葉でまとめる | 【思・判・表】 |

どんな問題があって何で生じているんだろう？調べてみたいな。

瀬戸内工業地域もあるし、農業や漁業も盛んなんだな。

私は過密化について調べるんだな。広島市の人口推移のグラフを見つけたけど、これを使って説明できるかな。

最後に学習課題に対する答えを自分の言葉で表現させたいな。

なぜ問題が生じてきているか、みんなの説明をつなげて考えてみると...

過密化について説明するね。～質問ある？～過疎化ってそういうことなんだ。それはどの資料を見ればわかるの。なるほど。そういうことか。～

### ～～ めあて（目標や課題）の提示で、見通しをもたせ意欲UPを・・・ ～～～～～～

より主体的に授業に取り組めるようにするためには、教師が考えている本時の流れを児童生徒も共有する必要があります。その第一歩が「めあて（目標や課題）の提示」の場面です。この場面における目的は次のとおりです。

**A:** 授業のめあて「どんな知識・技能の習得を目指すのか」を伝える。

**B:** めあて達成にはどんな視点で考えればよいか、見通しをもたせる。

**C:** 「考えて（やって）みよう」と意欲をわかせる。←（Bの見通しをもてた状態でほぼ達成）  
「めあて」の提示に加え、**BとC**の“見通しをもたせる”ことや“意欲をより高める”ことも大切にしたいと思います。

#### <めあて提示パターン>…例：国語6年

**A:** めあての提示

「戦争体験者の話から感じたことを整理し、自分の考えを深めよう。」

**B:** ①体験者の話で特に印象に残っている内容を一つ取り出し、今の平和さを再確認する。

②“自分の考え”とは、単元の課題『意見文を書く』際の“自分の考え”であることを確認する。

**C:** Bの①と②より、グループで今の平和さがより実感できることを整理すること、またそれを『自分の意見の根拠』にできることを補足する。

今の平和さ

めあて 「戦争体験者の話から感じたことを整理し、自分の考えを深めよう。」

意見文の根拠！

#### <課題提示パターン>…例：算数5年

**A:** 課題の提示

広さ○ m<sup>2</sup>の小屋1にうさぎが□羽、△ m<sup>2</sup>の小屋には◇羽います。どちらの小屋が混んでいるでしょうか。

**B:** ①“混み具合”の求式と意味を確認

②広さ(うさぎ数)をそろえることの気付き

③広さのそろえ方 等

**C:** 個々の子が見通しをもてた状態で意欲も高まっている。

※解決までの見通しでなくても、今までと違う部分、今日の頑張りたい点、難しい点、苦手な部分に分かると逆に意欲が高まることもある。

※「実態」や「どの状態で学び合わせたいか」により、子どもにもたせる見通しのレベルを調整する。

※子どもの発言をもとに整理することが望ましい。

### ～～ ねらいに迫る活動中の子どもの気付きや考えを広げる・深める・・・ ～～～～～～

学習の主体者である子どもが「自分たちで解決できた」と学びの充実感を感じられるようにすることが大切です。そのため、教師の役割は、子どもの気付きや考えを広げたりつなげたりすることです。

#### <教材研究のPoint>

①本時のゴールの姿や活動の目的（拡散 or 収束）を明確にする。

②子どもの考えや気付きを具体的に予想する。

③ねらいに迫る活動中の支援を具体的にもつ。

Pointはまだたくさんありそうです。よい実践を紹介して下さい。



#### <活動中のPoint>

個別追究 : 個々の気付きや考えの見とり。

: 既習事項や生活経験の掘り起こし（個々の実態に応じて）。

共有して : よい気付きや考え、その理由の共有（本人や数人の子から説明させたい）。

まとめる : 表情を見とり、新たに気付いた子に発言を促す。（友達の話を書く必要性、習慣づくり）

: 理解が不十分な子のつまずきを拾い、助言を促したり、個別に支援したりする。

\*気をつけたいこと

・一人の正しい発言後に教師が説明してしまう。（答えを押しつけず、他の子の状況も把握すべき）

・「分かった？」という問い掛けによる見とり。（表情、言動から見とりたい）

指導案の展開(主な活動欄)に**子どもの意識を具体的に記述する**と授業の質が変わります。